

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム カーサ	階数	地上3F
建設地	埼玉県川口市	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、第1種低層住居専用	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年12月1日
敷地面積	3,292㎡	作成者	㈱奥野設計
建築面積	1,849㎡	確認日	
延床面積	4,324㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レダ-チャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	潜熱回収型給湯器、LED照明を採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	内装材料のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用し、十分な換気量を確保するなど、室内環境の向上に努めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。
<b>LR1 エネルギー</b>	断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害対策のチェックリストの過半を満たすことにより、光害の抑制に努めた。
<b>Q2 サービス性能</b>	耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	自動水栓、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**(仮称)特別養護老人ホーム カーサ川口**

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
 評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.1</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-		<b>3.4</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00		<b>2.6</b>		
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40				
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40				
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20				
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20				
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>		
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50				
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43				
3 ソーン別制御性		3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	<b>4.1</b>	1.00		<b>3.5</b>		
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30				
1 昼光率	共用部分2.5%以上、宿泊部分1.25%以上	<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60				
2 方位別開口			-	<b>3.0</b>	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40				
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30				
1 昼光制御	宿泊部分はカーテンと庇により制御	3.0	1.00	<b>4.0</b>	1.00				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15				
3.4 照明制御	宿泊部分は各室にスイッチを設置	<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25				
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	<b>4.7</b>	1.00		<b>4.4</b>		
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63				
1 化学汚染物質	VOCの含有量の少ない建築材料を使用	<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	1.00				
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.3</b>	0.38				
1 換気量	換気量は共用部分、宿泊部分ともに1.4倍以上	<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.33				
2 自然換気性能	室面積の1/10以上の自然換気有効開口面積を確保	<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		<b>1.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33				
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20		-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	-		-				
2 喫煙の制御	建物内全面禁煙	<b>5.0</b>	1.00		-				
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-		<b>3.0</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.2</b>		
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60				
1 広さ・収納性	全個室10㎡/床以上	<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	1.00				
2 高度情報通信設備対応		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40				
1 広さ感・景観		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50				
2 リフレッシュスペース		<b>3.0</b>	-		-				
3 内装計画		<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50				
1.3 維持管理		<b>5.0</b>	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	内装に維持管理のしやすい建材を採用	<b>5.0</b>	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保	掃除用流しやコンセントの設置など、清掃環境を整備している	<b>5.0</b>	0.50		-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.30		-		<b>3.2</b>		
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.8</b>	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	せつ器質タイル貼り(40年)	5.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:長尺塩ビシート(20年)、壁:ビニルクロス(20年)、天井:ビニルクロス(30年)	5.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水(VLP):B、給湯(SUS):C、排水(VP):B、Eは不使用	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20		-				
2.4 信頼性		<b>3.0</b>	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.7</b>	0.30	<b>2.0</b>	1.00	<b>2.5</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>2.2</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.50	
1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	共用部分:壁長さ比率0.1以上0.3未満	4.0	0.40	1.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI=0.70	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.91	<b>2.4</b>	0.50	-	-	<b>2.4</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		自動水栓、節水型便器を設置	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.6</b>	0.60	-	-	<b>3.6</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		再生クラッシュラン、再生アスファルト、集材材	5.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		躯体と仕上材(LGS + PB)が容易に分別可能	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率93%	<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート






使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム カーサ川口	BEE	1.1	BEEランク
------	---------------------	-----	-----	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.2	+	2.6	= 5.8	
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	3.2
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.2
< 配慮した内容を記述 > ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量93%で、温暖化対策に配慮した。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。			

: 入力欄